いぎなりめんこい！ 孫自慢

本郷利玖人くん（2歳）
蒼空くん（3ヵ月）

鈴木陽耀くん（6ヵ月）

我妻璃來くん（3歳）

荒 幸牙くん（4ヵ月）

髙橋来心ちゃん（1歳）
暖生くん（4歳）

小川彩暖ちゃん（5ヵ月）
心彩ちゃん（5ヵ月）

松永寿々ちゃん（1歳）

清野太志くん（1歳）

鈴木貫太くん（2歳）

「夏のうまいもん」投稿例

『ふじやま』で
「冷やし」を一杯。
この夏も、もう一杯は確実！
まちあさん

スイーツ系もガッツリ系も、あなたの「うまい！」を教えてください

ご自慢のお写真をお送りください。募集中のテーマは「孫自慢」「夏のうまいもん」！

【応募方法】郵送

写真1枚に必要事項を添えて下記住所まで郵送

〒983-0038仙台市宮城野区新田3-20-12
河北仙販開発課「孫自慢」係
※必要事項：氏名／年齢／性別

河北仙販開発課「夏のうまいもん」係
※必要事項：ひと言コメント／ニックネーム

【応募方法】直接

河北仙販各支店に直接お届け、または河北仙販社員に手渡しも可

【応募方法】応募フォーム

「孫自慢」　「夏のうまいもん」

PRESENT プレゼント

【応募方法】郵送

はがきに「希望の商品名」「住所」「氏名」「電話番号」を記載し下記住所まで郵送

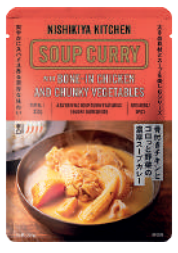
〒983-0038
仙台市宮城野区新田3-20-12
河北仙販開発課
「プレゼント」係

応募締切
2025年8月30日（土）
※どなたでも応募できます

本プレゼントを通じて得る個人情報は、第三者に開示することは一切ありません。お客様からご提供いただきました個人情報はプレゼント商品の発送、当社からのDM発送以外の目的で使用することはありません。

【応募方法】応募フォーム
応募フォームへのアクセスはこちら

ニシキヤキッチン 骨付きチキンとゴロっと野菜の濃厚スープカレー



5名様

骨付きチキンがゴロッと入った、満足感たっぷりのレトルトカレーを5名に。とんこつに鶏白湯、和出汁にスパイスを効かせた本格的なスープカレーです。

デルモンテ 野菜果実 160g×20本

1名様

「野菜果実」20本セットを1名にお届け。緑黄色野菜1日分を使い、21種の野菜と4種の果実をブレンドした、飲みやすい野菜果実ミックス飲料です。

アイリスフーズ フレーバー炭酸水 500ml×24本 1.シャインマスカット 2.ラムネ 3.ゆず 4.白桃

※1～4のいずれか1種類。商品名と併せて、ご希望の番号を記載して応募してください。

各1名様

アイリスの強炭酸水にフレーバー入りが新登場。お好きな1種（500ml×24本）を、各1名にプレゼントします。すっきりとした飲み心地をお楽しみください。

小豆島『宝食品』 貝柱と舞茸ご飯の素 1袋（2合用）

3名様

炊き込みご飯の素を3名にお届け。小豆島特産の醤油をベースに、イタヤガイ貝柱と国産舞茸の旨みを重ね、昆布エキスで仕上げた風味豊かな味わいです。

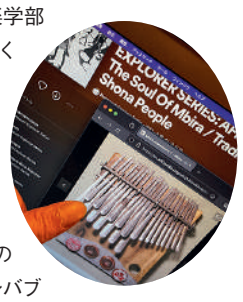
『キジトラ珈琲舎』
店主・伊藤誠の気ままコラム

寝ているだけで褒められたい

アフリカ南部の国、ジンバブエ。人口の7割以上を占めるショナ語話者には、Bira（ビラ）という伝統の儀式がある。いさかいの仲裁や困りごとへの助言について、彼らは祖霊とその精霊に答えを求める。儀式には一族が集い、夜通しのダンスと単調なパターンを執拗に繰り返す音楽によって一族の若者に精霊を降ろし、託宣を聞く。トランス状態。いいぞいいぞ。なんだかお盆と恐山が一緒にきたみたいではないか。Bira儀式の核になる音楽は、ドラム大合奏というアフリカおなじみのものではない。小さな金属片を親指や人差し指を使って弾く、親指ピアノMbiraである。構造上、大きな音は出難いので、ひょうたんをくりぬいた共鳴器に楽器を固定して演奏される。Bira儀式の軸だからMbiraか。

これねえ、アフリカ民藝小物のお店でお土産品みたいに売られてたのよ。日本でも、いやおそらく仙台でも。ウチにもあったもん。何か曲を弾こうとすると必要な音が出ないんだ、ぱっきゃまらど。今回、写真撮ろうと探したけど無駄だった。遠い昔、ババアにぶん投げられてたに違いない。

1970年代初め、アメリカの大学生ポール・ベルリナーくんもフォークブームの中でこの楽器に出合った。やっぱり楽器屋で「売ってた」んだと。音楽学部生、しかも民族音楽専攻のポールくんは「ぱっきゃまらど！」などとタンパラ起こして楽器を放り出したりしない。現地で演奏されている音楽なら、必要な音が出ない「ぱっきゃまらど現象」は起こらない。ショナ音楽に最適化されてるわけなのでね。腕を上げたポールくんはジンバブエを目指す。「米国白人がMbira弾いてる」と珍しがられて、ラジオ番組に出演するようになる。現地の代表的なMbira奏者と会うことにもなる。ポールくんは数年後に再びジンバブエに留学し、演奏を採録しレコードを制作する。70年代の終わりに著した「The Soul of Mbira」はショナ音楽、さらにはその背景となるBira儀式と核となる音楽について書かれた最初の論文となる。「この本の根拠は全て、現地の演奏家たちの言葉によるものである」という序文の一言は、なんとも誇らしい。先行論文のないテーマ。最初の論文が先頭打者ホームランみたいなものだ。ポール・ベルリナー氏は後にノースウエスタン大学の教授、デューク大学の教授などを歴任しジャズの即興演奏に関する研究などで活躍しておられる。



さて。国内の楽器店サイトなどを当たるとMbiraのカタカナ表記は「ムビラ」「エムビラ」と揺れている。他地域の同型楽器の名称もさまざまだ。しかしポールくんことベルリナー先生の著書に「an Mbira」という記述を見つけたキジトラ親父はMbiraを「えむびら」と読むこととしたい。母音で始まるから不定冠詞はanなんですわな。

キジトラ珈琲舎
㊟仙台市青葉区一番町2-7-3 ベアービル5F
☎022-796-3933　㊡水曜